ニッポン美人化計画

Text: Ryoko Kobayashi

MAKE-UP: UDA

MISSION
91
2017.7

PHOTO: Taro Mizutani (BE NATURAL)
STYLING: Itsumi Takashina
HAIR: KANADA (LAKE TAJO)

似合うけれど、ちょっと違う？ そう思ったら、とことん探ってみるのが、似合うメイクに出会える秘訣でした。

コート ¥97,000（ルメール | インターナショナル ギャラリー ビームス）／中に着たモックネックシャツ ¥19,000、ピアス ¥28,000（共にハイク | ボウルズ）／イヤカフ ¥28,000（シャルロット・シェネ | トゥモローランド）

今月のミューズが生まれるまで

在原みゆ紀さん
大学生
2017. 5. 14 at Shirokanedai
Photo: UDA

「第一印象は、物静かなクールビューティ。でも、話し出すと、親しみのある笑顔がチャーミングな在原さん。

「外見と内面のギャップから、テーマはミステリアスに。肌色を若干白めにしつつ、目元にはうっすらクマのような影を仕込み、普通っぽく見えて実はそうではないディテールをベースにちりばめました」（UDAさん）

ポイントメイクは、当初、深い赤口紅と目尻を下げた囲みアイラインを入れていたが、「在原さんのクールな面に振り切ってみたものの、もしかしたら大人っぽすぎる？」という疑問が湧きました。そこでリップを赤からピンクに変え、少しカジュアルに」（UDAさん）。

唇にインパクトがなくなったぶん、アイラインを強めて調整。すると、彼女のキャラクターや、18歳という年齢にもぴたり。

「持っている要素を、足したり引いたりして探っていく作業で、もっと似合うメイクが見つかります」（UDAさん）

ベースメイクは、肌色より若干明るめのリキッドファンデとおしろいで仕上げ、あえて素肌から浮いて見えるようにつくる。目元は、ベージュ（4の右）を使い、上瞼は目頭と目尻に塗り、中央に向かって指先で広げる。下瞼は、涙袋からクマができるエリアに広く伸ばす。そのうえで、ブラウン（4の左）を上下瞼のキワに塗り、指でなじませる。上瞼の中央には明るいベージュ（1）を入れ立体感をプラス。上下にぐるりといれたアイラインは、ジェルタイプの黒を使って、目尻を下げ気味に描く。リップは、ピンクのスティック（3）を直塗りし、指でなじませる際に、肌ににじませるように、輪郭をはみ出す位置まで伸ばす。ネイルは、ブルーグレー（2）を使用。

4　3　2　1

1: きらめきを含んだベージュ。みずみずしく密着。ジェリーアイカラー #02 ¥2,200（ジルスチュアート ビューティ）
2: ノンパールのシックな質感。ザ ネイルポリッシュ #Montauk Wind ¥1,800（アディクション ビューティ）
3: 唇の色に負けない高発色。SHISEIDOルージュ ルージュ #RS419 ¥3,600＊7/1発売（資生堂インターナショナル）
4: 上品な光沢感。ベルベット シャドースティック 左から: #8269/#8267 各¥3,200＊7/14発売（NARS JAPAN）

UDA

メイクアップアーティスト。雑誌・広告のファッション&ビューティ、女優やアーティストを担当するほか、舞台のメイクプランニングも手がける。本企画ではモデルハントからディレクションまで全体を統括。緻密な理論に基づく技は日々進化中。

美人化モデル募集中 ページに登場してくれるモデルさんを募集しています！ お名前・住所・電話番号・年齢・職業・一言メッセージと、すっぴん&お気に入りの服を着たスナップ（上半身）各1枚をメールでお送りください。ginza.bijinka@gmail.com